

議員会館、議会バスを廃止・成果上げる「議会のあり方研究会」 公明党議員団が推進

埼玉県議会「議会のあり方研究会」（公明、自民、地方主権の会、民主の4会派）が、成果を上げ始めた。9月定例会中の10月12日の会合で、①議長公館・議員会館の廃止、②議会バスの廃止、③5台ある議会保有公用乗用車のうち2台の廃止、④議員厚生クラブへの補助金の廃止、⑤議事堂内の会議室などの監査委員会、各種審議会などへの順次開放などを合意した。

団体意見交換会を開催

経済産業団体や福祉団体と

公明党議員団は10月19～21日の3日間、経済産業団体や福祉団体など23団体と埼玉県議会内で意見交換会を開催した。各団体から県への予算要望や現状の政策課題などを聞くとともに、公明党の政策や実績についても語り合うなど活発で有意義な会議となつた。今回、各団体から示された要望などは、公明党議員団として

上田知事に提出、その早期実現を図るよう申し入れを行つた。
参加団体は左記のとおり。

【経済産業団体】

▽埼玉県建設業協会 ▽埼玉県建設産業団体連合会 ▽埼玉県商工会連合会 ▽埼玉県商工会議所連合会 ▽埼玉県中小企業団体中央会 ▽埼玉県行政書士会 ▽埼玉県環境安全施設協会 ▽埼玉県歯科技工士会 ▽埼玉県



予算要望や政策課題など
活発に意見交換



福祉団体からも要望受ける

県葬祭業協同組合 ▽埼玉県電気工事工業組合(順不同)。
【福祉団体】

▽埼玉県膠原病友の会 ▽埼玉県閉症協会埼玉県支部 ▽日本脊髄損傷者連合会埼玉県支部 ▽全国脊髄損傷者連合会埼玉県支部 ▽日本リュウマチ友の会連絡会 ▽日本リュウマチ友の会

埼玉高速鉄道の杉野社長 「運賃値下げ」初めて言及

埼玉県議会9月定例会中に開かれた公社事業対策特別委員会において、埼玉高速鉄道の杉野正社長が運賃の値下げに初めて言及した。

これは、公明党の山本晴造委員が都内の地下鉄運賃に比べ埼玉高速鉄道の運賃が高い現状を指摘したのに対し、杉野社長が「まずは速達性や終電時間を遅くするなど利用者の利便性を高め、次に運賃を引き下げ、顧客に利益を還元していく」と答弁した。

埼玉高速鉄道の運賃値下げについては、本会議の一般質問や委員会でしばしば指摘されたが、これまで「検討する」といった答弁に終始してきた。今回初めて「運賃値下げ」について一步踏み込んだ明確な答弁となった。

9月定例会閉会後に行われた決算特別委員会では、16年度決算の詳細な検討が行われた。公明党からは森泉義夫議員、塩野正行議員が委員として選ばれ活発に議論した。同委員会では、16年度の一般会計および特別会計、公営企業会計を審査した。

決算特別委員会 森泉・塩野両議員が活躍

外視察については、公明党議員団の強い主張によって、今任期中の凍結がすでに決定している。
埼玉県議会「議会のあり方

研究会」は、野本陽一座長の提案によって、県議会公明党の申し入れを踏まえた名称になつている。

会埼玉県支部 ▽埼玉県腎臓病患者友の会 ▽埼玉県聴覚障害者協会 ▽埼玉県私立保育園連盟 ▽埼玉親の会「麦」(LD児)保育士会(順不同)。

ご意見をお寄せください

【埼玉県議会公明党議員団】

TEL 048-822-9606

FAX 048-822-9408

県民の皆様の県政に対するご意見やご提案などは、上記のTELまたはFAXでお受けしております。